

障害者の相談支援について

～基幹相談って何？～

講師 広島市中区障害者基幹相談支援センター

相談支援専門員 池上 清

1 『学んでほしいこと』

集いの場あゆみの利用者の方も、自立をめざして、人生を豊かに生きることが目標になっています。だれしも、自分の思い描く理想に向かって、主体的な人生を送りたいと願っているはずです。私は、様々な困難や、課題を整理し、解決しながら日々の生活を送るために、「障害者基幹相談支援センター」を活用してほしいと思っています。「相談支援専門員に相談する」ということを堅苦しく考えず「一緒に悩みながら考える」「障害福祉サービスを有効に活用する」という視点をもってもらいたいと願ってテキストを活用していただければ幸いです。

2 『学びのポイント』

- (1) 参加者様に「障害者基幹相談支援センター」の利用に関して、課題の共有や不安の解消につながる身近な場として理解してほしいため、難しい福祉用語や制度をわかりやすく書きました。そのために概要の説明的になっている面もありますが、その時々質問に応じて説明を加える形式としました。
- (2) 機関車のキャラクターを用いて相談支援専門員への親しみやすさを前面に出すように考えました。
- (3) 「基幹相談支援センター」の役割を中心に「基幹相談」と「計画相談」を大きく2つに分けて説明しました。
- (4) 基幹相談支援センターで困っている事、支援してほしい事、力をつけたい事等を、実際に出してもらい、「セルフプラン」の作成に役立ててもら

います。

- (5) 過去に実際の相談支援から問題解決に結び付いた事例について、3つ取り上げ、わかりやすく説明するため図表化し、参加者の方たちに紹介しました。
- (6) 事例の後に、関連する制度内容を表にし、利用できる障害福祉サービスはどのような内容なのか学習できるようまとめました。

3 『支援のポイントとテキスト「相談支援の実際」の活用方法』

≪SP1≫支援者の意図とテキストについて

それぞれの項目について、難解な言葉も多いので、丁寧に確認しながら問い掛けて聞き取りを繰り返しながら、参加者の皆さんがどのように理解をしているかを把握して進めました。自らの日々の生活を振り返り、他者の意見も聞くことで理解を広げることも意識しながら、できるだけ平易な言葉を使い、反応を確認して進めました。テキストについては基幹相談支援センターが、気軽に利用できる機関だと伝わるように親しみやすいキャラクターや、会話の吹き出しを用いて作成しました。

≪SP2≫活用方法…事例と関連制度内容表をみて参考にしよう。

事例① 「仕事に自信がなくてうまく続けられなかったAさんの支援について」
「訓練等給付サービス」を利用して「就労継続支援B型事業所」を紹介しました。+「訓練等給付サービス」訓練等給付の内容表を参考に説明しました。「ゆっくり働きながら、続けていける力がつくといいですね。」と具体的な例を出して説明を加えました。

事例② 「一人暮らしで片付けが苦手なBさんの支援について」

「介護給付」の中の「居宅介護サービス」を利用して、ヘルパー派遣につなげました。+「介護給付サービス」制度内容表を参考に説明をしました。「ヘルパーさんと一緒に部屋の片づけをしながら、掃除がうまくなるとよいですね。」と具体的な例を出して説明を加えました。

事例③ 「障害のために長く仕事が続けられず生活に困窮しているCさんの支援について」

この事例は、ロールプレイを通して、実際の相談の進め方について説明し

ました。「障害年金」「生活保護」「金銭管理（かけはし）」についての説明を行ったり、（制度内容表を参考にして説明をします）関係窓口と一緒に話を聞いたりする対応の様子、生活保護の受給が決まった後のお金の管理について日常生活自立支援事業「かけはし」を利用するまでの様子、お金の不安を解消し制度の有効利用になった様子をロールプレイで紹介しました。

4 『資料の紹介』

※ ほぼ広島市のホームページから引用しました。

5 『講師の感想』

今回このような機会をいただき本当によい経験になりました。相談支援専門員として、経験が浅く、つたない話にもかかわらず、参加者の方々が、熱心に耳を傾けてくださいました。皆様に感謝申し上げるとともに、今後も、支援を必要とされる方々と一緒に考えていくという姿勢で職務に取り組んでいきたいと改めて思いました。本当にありがとうございました。